

2020年(令和2年)7月8日(水曜日)

ネパールにマスクを



衛生環境の悪さが懸念されるカトマンズ市。コロナ感染者も増加傾向にある＝グラウンドワーク三島提供

新型 コロナ

三島のNPO

感染拡大で寄付呼び掛け

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ネパールの衛生環境改善に取り組んでいる三島市のNPO法人「グラウンドワーク(GW)三島」が、現地に贈るためのマスク寄付を呼び掛けている。ネパールでは感染者数の増加が続いており、渡辺豊博専務理事(セ)は「コロナの感染リスクが高い中、命の危険にさらされている子どもたちを助けてほしい」と切実に訴える。(杉原雄介)

衛生環境の悪さに危機感

GW三島は二〇一五年のネパール地震以降、ネパール・日本友好協会(山梨県大月市)と協力し、現地で定期的に復興支援を実施。三島市内で環境保全を行ってきたノウハウを生かし、杉のチップと微生物の働きで排せつ物を分解する「バイオトイレ」の設置や、生活排水で汚れた川の清掃などを進めてきた。

世界保健機関(WHO)のレポートによると、人口二千八百七十七万人のネパールのコロナ感染者は一万五千人以上となっている。渡辺さんは、現地の衛生環境の悪さに危機感を募らせており「特に首

「子どもたち助けてほしい」

都のカトマンズ市は水が汚く、手で洗いで感染予防ができない。ネパールにはマスクがほとんどなく、欲しがる声が届いている」と話す。

寄付されたマスクは、カトマンズ市の学校などに提供予定だ。渡辺さんは「『アベノマスク』や手作りマスクでも大丈夫。消毒液やせっけんも寄付してもらえたらうれしい」と呼び掛けている。

寄付は、〒411-0857

三島市芝本町六の二のGW三島事務局へ郵送か持参を。問い合わせはGW三島☎055(9833)0136へ。